

基本計画



4 行財政運営

現状と課題

厳しい財政状況や地方分権が進む中では、安定的・効率的な行財政運営を行う必要があります。

本村では、「行政改革大綱」「集中改革プラン」に基づき、職員の適正な定員管理や低コストで効果的な事務の改善、村有土地建物の有効活用などに努めてきました。その結果、比較的健全な財政運営が図れていますが、庁舎建設などの大型事業も実施されているため、今後とも行政改革のより一層の推進が求められます。

また、日向東臼杵南部広域連合でのごみ処理や火葬、入郷地区衛生組合でのし尿処理など広域的な事業の実施により合理的で効率的な行政運営に努めています。近年では延岡市と日向市を中心市とする定住自立圏※¹形成協定を締結し、生活機能の強化にかかる政策分野等での広域行政構築を推進していくことになりました。効率的な行政運営を進める上で関係市町村との連携は欠かせないものであるため、今後とも共同事業の推進や広域行政圏域構築への取り組みを推進していく必要があります。

基本方針

行政改革や広域行政の取り組みを推進し、効率的で健全な行財政運営に努めます。

施策の体系

行財政運営

- 1 効率的で健全な行財政運営の推進
- 2 広域行政・連携の推進

※1 定住自立圏:中心市と周辺の市町村が協定を締結することで「定住自立圏」を形成し、中心市における圏域全体の暮らしに必要な都市機能の集約的整備、周辺の市町村における必要な生活機能の確保を進め、互いに連携・協力することにより、圏域全体の活性化を図ることを目的とする。

施 策

① 効率的で健全な行財政運営の推進

- 「行政改革大綱」に基づき、事務事業の見直しや職員の適正な定員管理、行政の情報化による行政サービスの向上など、効率的な行政運営を推進し、健全な財政運営を図ります。さらに、公営企業会計については独立採算性の堅持を原則とし、計画的な事業執行に努め経営健全化に努めます。
- 国や県の施策や動向に対して迅速かつ適切に対応し、より一層の連携強化に努め、関連する計画や事業の円滑な推進を図ります。
- 行政評価の実施によりPDCAサイクル※2を確立し、効率的かつ有効な行政運営を行います。
- 課税対象の的確な把握と収納率の向上による自主財源の確保に努めます。
- 村有土地建物の適正な管理、有効活用に努めます。

② 広域行政・連携の推進

- し尿やごみ処理、火葬、公営墓地の運営、河川環境の保全など、周辺市町村と連携のもと広域的な事業の充実に努めます。
- 定住自立圏形成協定に基づき、広域施策・共同事業の推進を進め、交流並びに定住人口の増加を図ります。
- 関係市町村、機関等との連携強化に努め、さらなる経費削減に取り組み、効率的かつ効果的な行政運営と住民サービスの向上に努めます。

※2 PDCAサイクル:事業活動をする上での管理方法のひとつで、計画(Plan)、実行(Do)、点検(Check)、見直し(Action)の4つの段階を順に踏むことで、業務改善につなげる。